

森林経営管理制度において効率的な境界明確化をご検討の皆さまに

『もりったい 境界明確化プラン』のご案内

森林整備や集約化を進めるためには森林所有界を明確にする必要があります。「もりったい」は空中写真の立体視を活用し、林相だけでなく地形や境界の目印となる大径木なども同時に判読しながら効率的な境界明確化を実現します。

今回ご案内する『もりったい 境界明確化プラン』は森林現況の把握や森林経営管理制度の推進における境界明確化の業務に「もりったい」を少しだけ使ってみたいなどのご要望にもお応えします。「もりったい」を活用することで、所有者は現地に行かずに立体視による境界候補図の確認が可能となり現地負担が軽減され、また住民説明会等では多人数が境界区分を同時に確認しながら合意を得ることにより効率化がはかれます。

参考) 境界明確化プランの見積り例

例えば…

昭和 50 年と平成 20 年の写真を購入し、約 100ha の境界明確化を行う場合

内 訳			金額 (円)
(「もりったい」のプロジェクトデータ作成)	写真購入 (2 時期) (地理院モノクロ 1 枚 4,127 円) (NTT 空間情報カラー 1 図郭 55,500 円)	・ 国土地理院アナログ/モノクロ 昭和 50 年 6 枚 ・ NTT 空間情報デジタル/カラー 平成 20 年 2 図郭 (6 枚)	24,762 111,000
	もりったいプロジェクト作成基本料 (1 モデル 30,000 円)	・ 昭和 50 年プロジェクト ・ 平成 20 年プロジェクト	30,000 30,000
	もりったいデータ作成 (アナログ 20 枚未満 1 枚 5,000 円) (デジタル 200 枚未満 1 枚 5,000 円)	・ 昭和 50 年プロジェクト ・ 平成 20 年プロジェクト	30,000 30,000
境界候補図作成	もりったい機材一式利用料	利用期間 1 か月	50,000
	以下項目 (必要に応じ別途見積) ・ 「もりったい」操作研修 ・ 境界候補図作成 ・ 住民説明会		別途見積
小 計			305,762
消費税			30,576
合計 (税込)			336,338



●ご質問、お問合わせ

下記のアドレスまでメールにておよせください。
(アットマーク)を@に変更して送付願います。

dgforest(アットマーク)jafta.or.jp